

女性部大会

肩こり・腰痛・肘痛
町立南幌
野菜栽培
空知
空知



くみあいだより

JAなんぼろ



JAなんぼろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

冬の間は椎茸栽培

町内農業生産法人の(有)ほなみ・(有)NOAHは、冬期間ハウスで椎茸栽培を行っており、本年も順調に収穫を進めています。

ハウス内には、数えきれないほどの菌床が並べられており、外は氷点下の極寒でも椎茸が一定の期間で育つように温度管理がされています。収穫は毎日一つ一つすべて手作業で進められ、収穫後はコンテナいっぱい
の椎茸が手際よくパック詰めされていました。
椎茸の栽培は、春の農繁期前の3月下旬まで続けられます。



令和6年度蔬菜園芸組合総会を開催

1月27日(月)、南幌町蔬菜園芸組合は、エコープなんぼろ店2階で総会を開催しました。

総会で審議された内容は、全て賛成多数で承認されました。

議案

第1号 令和6年度事業報告並びに決算報告について
(監査報告)

第2号 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

報告事項

1. 令和6年度販売実績報告について
2. 価格安定基金内訳について



長ねぎ播種開始

2月6日(木)より、JAなんぼろ育苗センターで令和7年産長ねぎの播種作業が始まりました。

本年は「北のいぶき」「ホワイトソード」「北の匠」「ちゃんこ葱」の4品種が播種される予定です。

播種作業は、紙製のチエーンポットに種子を播いた後、覆土を行い、ビニールハウスに1枚ずつ丁寧に並べられ約1ヶ月育苗されます。

1作目の出荷は3月13日(木)と14日(金)に予定されており、3月末頃までに約7,000枚の播種作業が行われます。



補正予算事業等の受付を実施

1月27日（月）から30日（金）の4日間、JA3階大会議室で令和6年度補正予算「畑作物産地形成促進事業」「コメ新市場開拓等促進事業」の申請手続及び「畑地化促進事業」に係る要望調査を行いました。

混雑のないスムーズな受付をするため、各曜日で地区割を実施しました。足元の悪いなか、多くの生産者の方が訪れ、南幌町農業再生協議会事務局である営農部農業振興課と南幌町産業振興課農政係の職員が申請内容の確認等を行いました。



青年部だより

発行者
JAなんぼろ青年部
編集責任者 石川 卓也

青年部の想いを伝える

1月27日（月）から2月1日（土）の6日間、JAなんぼろ青年部は、2月2日（日）の南幌町冬まつりの開催に合わせ、スポーツセンター駐車場にスノーメッセージを作成しました。

スノーメッセージは、安全・安心な農畜産物の生産にかける農業者の心意気を消費者にアピールするもので、今年のテーマは、JA空知青年部連合会による「躍進」の大テーマのもと「常昇」に決まりました。昨年度は「飛昇」のテ

マのもと1年間活動し、飛躍の年となったため、今年はその現状に満足せず、常に高みを目指すという熱意をテーマにしました。

若杉宗樹部長は「今年のスノーメッセージは10年にかけてJAユースのマークに一工夫を加え、年々盟友数の減少が激しい青年部の再生と復活の想いにも是非注目していただきたい」と製作のポイントを述べられました。

スノーメッセージは、2月2日（日）から2月9日（日）まで展示され、農業者の熱い想いを冬まつり来場者や消費者の方にPRする事が出来ました。



くるるの杜で雪中野菜掘り出し体験

2月1日(土)、ホクレンくるるの杜で雪中野菜掘り出し体験が行われ、盟友4名が参加しました。

体験に参加された4件の家族と盟友が、雪の中に貯蔵された野菜と一緒に掘り出し、掘り出されたじゃがいもと12月に青年部より提供した玉ねぎを使用して、肉まんを作りました。

体験の中には、青年部より小麦や玉ねぎの生育についての話や、子供たちからの質問コーナーがあり「農家になって良かったことや大変なこと」「冬でもつくれる野菜」など色々な質問に盟友が答え、南幌町の農業について子供たちに伝えることができました。

青年部では、今後も町内外の消費者に南幌町農業の魅力などを伝えていきます。



食育・PR事業 南幌小学校「もちつき体験」開催

1月30日(木)、南幌町あいくるふれあいホールで南幌小学校6年生を対象に、もちつき体験を開催しました。

女性部では、平成22年より、食の大切さや南幌町農産物が安心・安全であることを伝えるとともに、地元の子ども達との交流を通じて、より良い地域づくりを目的にもちつき体験を行っております。しかし、新型コロナウイルスの影響で、令和2年を最後に未開催となっており、5年ぶりに再開することができました。

当日は、女性部員10名に加え青年部員5名にも協力いただき、児童と一緒にお餅をつきました。つき終わった後は、お餅を丸め、みたらし・ごま・きなこの3種類から好きな味付けをして食べてもらいました。実際に自分たちの手でついた、つくたてのお餅を美味しく食べてもらう姿を見て、女性部員一同とても嬉しい気持ちになりました。

来年も元氣な皆さんに会えることを願っています。



J A常勤役員女性部三役意見交換会

1月30日(木)、すしはんガーデンでJ A常勤役員と女性部三役で意見交換会を行いました。

林組合長の挨拶により始まった意見交換では、J A常勤役員と女性部三役が、お互いの考えを話し合うほか、昨年12月に鹿児島・熊本県で開催した、女性部役員視察研修にて学んだことや体験してきたこと等を報告しました。今後の女性部活動に向けた助言を多数いただき、活動へのアイデアが広がる有意義な時間となりました。

白倉ひとみ部長からは、「昨年に続き、良い意見交換をすることができました」との声が聞かれました。今後も女性部では、J Aとの交流を大切に、活動に励んでいきます。



令和6年度J Aなんぼろ女性部大会を開催

2月17日(月)、J A 3階大会議室で令和6年度女性部大会が開催され、部員47名が参加しました。

大会には、来賓として林組合長をはじめ南幌町より小林副町長、普及センター空知南西部支所より辻支所長が出席され、激励のお言葉をいただきました。

午前中は、白倉恵氏を講師にお招きし、「フラワーアレンジメント」制作を行いました。今回は桃の節句をテーマに、桃の花やチュウリップなど色とりどりのお花を用意していただき、個性あふれる作品を完成させることができました。中にはまだ蕾のものもあり、参加者からは「これから花開いていくのがとても楽しみ」との声が聞かれました。

お昼休みには恒例の「作品展示・即売会」を行い、沢山の参加者が集まり作品を購入されるなど、大きな賑わいを見せました。



昼食後1つ目の講演では、農業改良普及センター空知南西部支所より市野普及職員をお招きし、「野菜栽培について」と題し、主にピーマン栽培のポイントについて教えていただきました。2つ目の講演では、町立南幌病院より理学療法士の花木星斗氏をお招きし、「肩こり・腰痛・膝痛痛いところと付き合う為に自宅でできる簡単体操」と題し、お話しいただきました。実際に簡易的なベッドを広げ、すぐに実践できる体操を多数教えていただき、参加者からは「冬期間で固まった体をほぐすためにも毎日行いたい」など前向きな声が多く聞かれました。1時間程でしたが終始和気あいあいとした、楽しい講演会となりました。

今年も、昨年に続き多くの女性部員の皆さんにご参加いただき、会話と笑顔の絶えない良い大会となり、令和6年度最後の活動を終えることができました。

長船技師による営農情報！

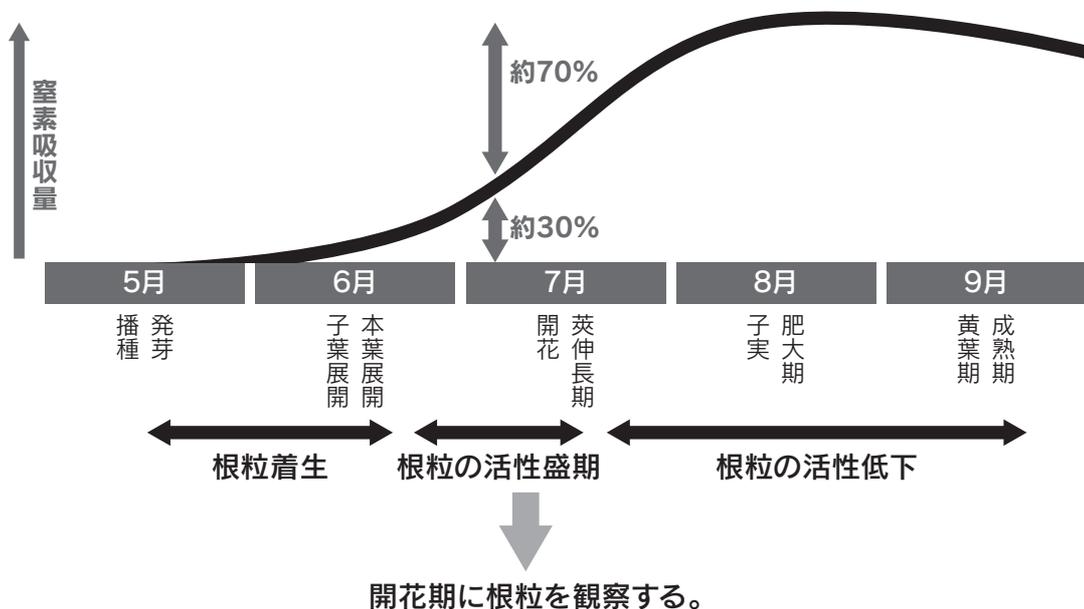


大豆栽培における根粒菌の役割について

大豆は多量の窒素を必要とし、その窒素の大部分は施肥窒素からでなく、根粒菌が固定する窒素と地力窒素からの供給窒素です。大豆100kgを生産するための養分吸収量は水稻と比べて窒素が3倍、加里が2倍、石灰が10倍、苦土が3倍です。今回は大豆栽培における根粒菌の働きについて紹介したいと思います。

1 大豆の養分特性

- (1) 施肥窒素は少量で十分で過剰な施肥は根粒菌の活性を阻害します。
- (2) リン酸の吸収量は窒素に比べて少ないが、根粒菌を着生する効果があり、生育初期から開花期にかけて吸収させることが増収に結び付きます。
- (3) リン酸は、開花期に吸収されたものが子実本体に与える影響が多く、莢伸長期、肥大期がこれに次ぎます。



開花期の根粒観察：5株(10株)程度掘り上げ、根粒数を計測

- ① 一株当たりの根粒数20未満→開花期に窒素10kg/10a追肥(1個体あたりの根粒数10個未満)
- ② 一株当たりの根粒数20個以上→追肥不要(1個体あたりの根粒数10個以上)

図1 大豆の生育ステージと窒素吸収量

2 根粒菌の特性

- (1) 根粒菌は通気性の良い土壌や、pHが6.0~6.5の土壌を好み、排水対策やpH管理が重要です。
- (2) 根粒菌の寿命は多くは1年以内で大豆は開花期までの窒素吸収量が多いが、開花期以降、窒素固定力は低下します。一方、地力窒素は地温が上がる開花期以降の発現が多くなり地力窒素の依存度は高まります。

3 追肥の目安

- (1) 開花期に根粒菌観察を行い、根粒数を確認して追肥量(図1)を判断します。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかもづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかもづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかも」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかも」1名につき、新たに2名以上の「なかも」を特定し、「なかも」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかもづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

グリーンコミュニケーション

融雪剤の季節です



3月に入ってから日中の気温も上がり、融雪材をお買い求めのお客様が増えてきました。グリーンセンターでは多数の融雪材を店頭にてご用意しておりますので、春先の営農が始まる前に散布して融雪を促進しましょう!

皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

左:「防敵融雪炭カル(粒)」
右:「融雪アッシュ(粉)」
他にも「塩化カルシウム」
や「すべり止め用乾燥砂」
もございます。



理事会報告

1月29日

1月臨時理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

1. 理事会の諮問審議委員会の答申について
2. 令和7年度予算大綱について
3. 令和7年度経営定期点検実施計画について
4. 規程の改正について
5. 役員と組合の取引基準について
6. 令和7年度における理事者に対する共済・貯金担保貸付の包括承認について
7. 役員選任に係る学識経験推薦委員について
8. 令和7年度 余裕金の運用について
9. 期末賞与の支給について

【報告事項】

1. 第1回 営農振興組合長会議の開催結果について
2. 第9回 監事会の開催について
3. 令和6年度 職員の資格取得状況について

2月25日

2月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

1. 税効果積立金の取り崩しについて
2. 令和6年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書の作成について
3. 第77回 通常総会の提出議案（総会参考書類）について
4. 令和6年度 剰余金処分案について
5. 第16次農協事業中期3カ年計画の設定について
6. 令和7年度 事業計画の設定について
7. 令和7年度 農畜産物販売品の手数料及び利用料等の設定について
8. 賦課金の賦課及び徴収方法について

9. 役員報酬の支給について
10. 土地改良法にもとづく土地改良事業の実施について
11. 総会報告事項の承認について
12. 学識経験役員推薦について
13. 春の経営懇談会の開催日程について
14. 令和7年度 営農計画書審査方針等の設定について
15. 規程類の改正について
16. 出資金の減口について

【報告事項】

1. 第2回 営農振興組合長会議の開催について
2. 1月末 農産物の保管状況について
3. 「JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針」の変更について
4. 定款第54条第3項の規定による利益相反取引について
5. 1月期 JAローンの貸付について
6. 内部監査の実施報告について
7. 令和6年度 年間経営定期点検実施報告書について
8. 役員候補推薦会議に係る推薦委員及び地区代表者について
9. 令和6年度 自己査定結果について
10. リスク情報について
11. 要領の制定及び改正について
12. 人事について
13. マネー・ローディング等および反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について
14. ヘルプラインの運用実績について

表紙の紹介

◎今月号は、女性部大会の集合写真を表紙にしました。



編集後記

今年は雪が少ないなあなんて思っていたら忘れていたかのように連日降り始めましたね。毎日雪が降ったかどうかで二度寝するかどうかが決まる生活はいつまで続くのかドキドキが止まりません。

くみあいだより担当の上地は侷ほなみの椎茸ハウスで収穫を体験させてもらいました。



発行 南幌町農業協同組合 〒069-0293 空知郡南幌町栄町1丁目4番7号
 TEL 011-378-2221(代表)、011-378-2274(直通) FAX 011-378-0846 発行日 令和7年3月1日 企画 編集 営農部 農業振興課 印刷 ㈱トリムシステム
 ホームページ <http://www.ja-nanporo.or.jp> メールアドレス koho@ja-nanporo.or.jp